



参加者の方からの写真

参加者の方から
ご報告いただいた
写真の一部を
ご紹介します



令和元年度 いたばし「自然・いきものさがし」



ニュースレター



いたばし「自然・いきものさがし」の集計結果をお知らせいたします

調査期間：令和元年6月1日～10月31日
参加人数：478人（累計）
報告件数：2,228件（268種）
たくさんのご参加ありがとうございました

上位12種までの
いきものを紹介します

1位
90件



ナミアゲハ（アゲハチョウ）
大型のチョウで、ミカンやサンショウの葉で幼虫が見つかる

2位
76件



ヤマトシジミ
小さなチョウで、道端のカタバミに卵をうむ

3位
75件



ミンミンゼミ
夏を代表するゼミで、大きな声が夏を感じさせる

4位
67件



アブラゼミ
大きくてハネが茶色く見分けやすいゼミ

5位
65件



モンシロチョウ
誰もが知っている身近なチョウ 紋は前ハネの裏にある

6位
62件



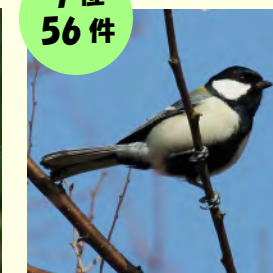
メジロ
目の周りが白いのが名前の由来 甘いものが大好き

7位
56件



キタキチョウ
以前はキチョウと呼ばれていた

7位
56件



シジュウカラ
胸からお腹の黒いラインが特徴

9位
55件



キジバト
昔は山鳩とも呼ばれていた

10位
54件



ツクツクボウシ
夏の終わりが近づくと鳴き始めるゼミ

11位
50件



ツマグロヒョウモン
メスはハネの先が黒く、白い斑がある

12位
49件



ヒヨドリ
騒がしい鳴き声で目立つ小鳥

チョウやゼミ、鳥が多く報告されました



昆虫類



コミスジ



ショウリョウバッタ



オオカマキリ



ウラギンシジミ



キアゲハ（幼虫）



コクワガタ

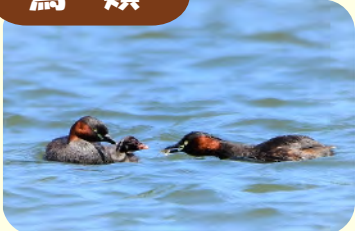


アオスジアゲハ



ヒメハラナガツチバチ

鳥類



カイツブリ



チョウゲンボウ



ムクドリ



オオタカ



オナガ



バン

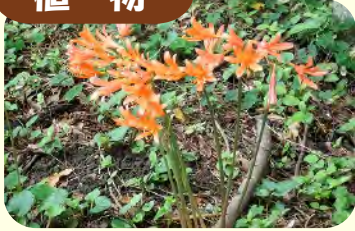


ツミ



アオサギ

植物



キツネノカミソリ



ムラサキカタバミ



ツユクサ



ヒガンバナ

その他



ニホンカナヘビ



ナガコガネクモ



ヒガシニホントカゲ



アスマヒキガエル



こんな情報が寄せられました



参加者の方から寄せられたコメントの一部をご紹介します

※写真はイメージです。コメントは一部読みやすく修正しました。

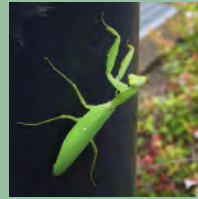
ショウリョウバッタ

- 前野公園の草むらで、あかちゃんバッタをたくさん見かけた（幼児、前野町）
- 草むらをたくさん跳んでいた（30代、高島平）
- 葉の上にとまっていた（40代、新河岸）



ハラビロカマキリ

- ベランダで飼っていたところ、カマキリの腹からハリガネムシが出てきて、みんなで驚きながらじっくり観察した（保育園、舟渡）
- 幼虫2匹をみつけた（40代、赤塚公園）



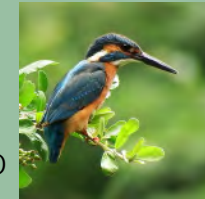
クロアゲハ

- 交尾、シラカシの葉にとまっていた（60代、小茂根）
- 木と木の間を飛んでいた（70代、赤塚新町）



カワセミ

- 石神井川の石の上で佇んでいた（30代、南常盤台）
- 餌をくわえて飛行していた（50代、加賀）
- ホバリングしていた（70代、浮間公園）



ジョロウグモ

- 赤松の木とササの間のクモの巣にいた（70代、赤塚植物園）
- ヨシ原の巣にいた（70代、浮間公園）
- 5匹がクモの巣にいた（70代、赤塚公園）



コサギ

- 2羽が白子川の小魚をとって食べていた（40代、成増）
- 川の中で何かを捕食していた（30代、双葉町）
- 池に浮いたフイの上にとまっていた（70代、浮間公園）



セイタカアワダチソウ

- 花の周りに、蝶がたくさん飛んでいた（20代、西台）



カルガモ

- つがいで泳いでいた（50代、生物生態園）
- 十数羽、石神井川の中、泳いでいた（30代、氷川町）



自然観察会を実施しました



赤塚公園

7月28日(日) 参加者20名

第1回目の自然観察会は、区の花ニリンソウが咲くことで有名な赤塚公園で行いました。

園内の樹林では3種のセミが鳴き、雑木林と草地の境界付近を探すとカメムシやチョウの仲間などがみつけられました。



木の幹や葉の裏もさがすと昆虫などがかかれています



荒川戸田橋緑地 生物生態園

9月15日(日) 参加者18名

第2回目の自然観察会は、荒川沿いにある荒川戸田橋緑地生物生態園で行いました。

草むらからは歩くだけでトノサマバッタやショウリョウバッタなどが次々に飛び出し、モズの声も聞こえました。後半は池（ワンド）へ移動しました。アオサギやアメンボのほか、外来種のミシシippアカミミガメやウシガエルなども見つけられました。



今回の調査から見えてきたこと



<希少種について>

東京都が指定する絶滅危惧種であるヒグラシやヒガシニホントカゲ、カワセミ、ハグロトンボ、バン、ヤマトタマムシ、キツネノカミソリなどが報告されました。

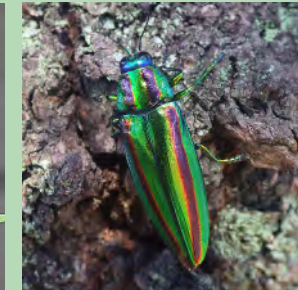
これらのいきものが暮らす赤塚公園や浮間公園、荒川河川敷など大きな公園や緑地は、区内の貴重な自然環境といえます。



ヒグラシ



ハグロトンボ

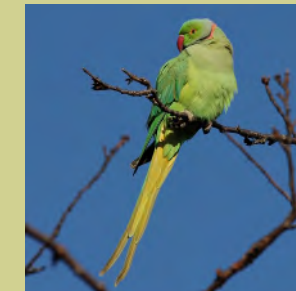


ヤマトタマムシ

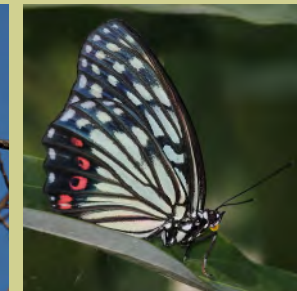
<外来種について>

外来種としては、ワカケホンセイインコ、アカボシゴマダラ、セイヨウタンポポ、キマダラカメムシ、ミシシippアカミミガメなどが報告されました。

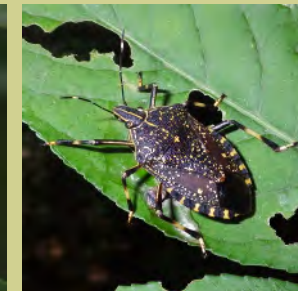
特にアカボシゴマダラは、環境省が指定する特定外来生物で、分布の拡大による在来種への影響が心配されます。



ワカケホンセイインコ



アカボシゴマダラ



キマダラカメムシ

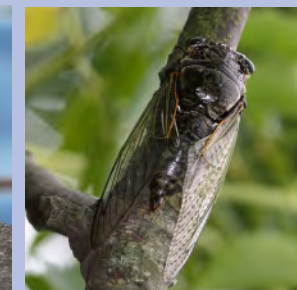
<注目種について>

報告されたいきものの中から、区の鳥であるハクセキレイや、近年生息域が北上しているツマグロヒョウモンやクマゼミ、ムラサキツバメなどを注目種として抽出しました。

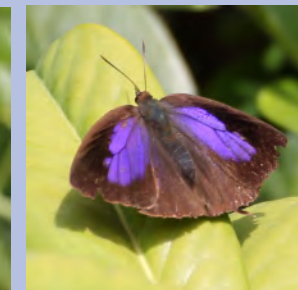
ハクセキレイは19件の報告があり、大きな公園だけでなく、成増や前野町、三園などでも観察されました。



ハクセキレイ



クマゼミ



ムラサキツバメ

<夜行性のいきものが報告されました>

報告されたいきものの中には、昼間は活動していないものも含まれていました。

アブラコウモリやニホンヤモリ、アズマヒキガエルなどの他に、ハクビシンの報告もありました。



ニホンヤモリ



ハクビシン

調査の結果からいろいろなことが分かってきました

